

令和元年度（2019年度）北海道若年優秀技能者知事賞受賞者

氏名(年齢) 職名	勤務先	功 績 の 概 要
渡 邊 翔 太 (29 歳) 大工	 加藤建設株式会社 (札幌市)	札幌高等技術専門学校終了後、平成22年に加藤建設(株)に入社。1年目に2級建築大工技能士を取得、その後も技能の研鑽を続け、1級建築大工技能士、1級型枠施工技能士の資格を取得するなど、時間を惜しまず技能習得に努力する姿は若手技能者の模範である。 職場では、大きな現場を任されるなど社長からの信頼も厚く、若手社員には積極的に指導をするなど上司としての能力も申し分ない。 何事もあきらめずに最後までやり遂げる精神と技能の上達が認められており、所属が訓練を受託している札幌高等技術専門学校の訓練生に対しても熱心に指導し、兄貴分的な存在となっている。 札幌高等技術専門学校の修了生と会員企業の若年技能者を中心に構成されている札幌市建築業組合「技術技能士会」の会員として「札幌技能フェスティバル」には毎年参加し、木製椅子の製作体験などを通じて、子供達にもつくりの楽しさや技能の素晴らしさを伝える活動を行っている。
柴 山 将 也 (28 歳) 型枠工	 有限会社村田建設工業 (札幌市)	札幌高等技術専門学校在学中は、技能を学ぶ意識が一人倍高く、修了試験である技能照査では優秀な成績を修め、札幌市より優良訓練生として表彰を受けた。 (有)村田建設工業入社後も技能向上に邁進し、1年目で技能検定2級(型枠施工)、その後技能検定1級(型枠大工)に合格。 若年でありながら高い技能を習得しており、型枠施工での作業の効率化を図るため、柱型枠施工時の立て込み方法を見直すことで二人で行う作業を単独でできるようにするなど改善に取り組んでいる。 施工の安定感などにより所属事業所の信頼を得ているのはもちろんのこと、他の事業所の従業員からも慕われており、所属事業所が受け入れている札幌高等技術専門学校の訓練生に対する指導にもあたっている。 札幌高等技術専門学校の修了生や各事業所の若手従業員で構成されている「札幌市建築業組合技術技能士会」の会員としても積極的に活動し、各事業所の連携を促進し、若手技能士の増加や技能向上にも尽力している。
佐々木 翔 平 (30 歳) 鉄道車両組立工・修理工	 北海道旅客鉄道株式会社 釧路運輸車両所 (釧路市)	入社以来、鉄道車両の検査修繕に従事し、気道車(ディーゼルカー)を構成する最も重要な機器の一つである機関(エンジン)の検査・修繕から技術習得し、直接乗り心地に影響を及ぼす台車・輪軸検修に関する技術を習得してきた。 自己研鑽にも励み、鉄道車両製造・整備の電気装作業、走行装置整備作業、配管装作業の一級技能士、内部装作業の2級技能士を取得。 平成28年度に社内制度である優良提案で「キハ40形式車両の充電発電機駆動ベルト調整治具」を考案、設計、製作し銀賞を受賞。ベテラン社員の技能に頼った調整方法を経験の少ない若手社員でも短時間で同等の状態に調整することが可能となり、後輩社員への技術継承に大きく寄与した。キハ40形式は道内で普通列車として走行する一般気道車の約7割を占めており、社内各工場へ治具を展開したことで道内全線の普通列車の安全運行に大きく寄与することとなった。 現在、職場の中核を担う企画技術管理担当の一人として、新入社員の指導者として欠かせない人材として活躍している。
宮 本 章 博 (30 歳) 建築大工	 丸和信和建設株式会社 (標津郡標津町)	釧路高等技術専門学院建築科を卒業し、二級建築大工技能士資格を取得。平成25年に丸和信和建設(株)に入社後は一般住宅、公共施設等の大工工事業務に従事。和室の造作等の難しい細工が優れており、きれいで正確な仕事を完成させることができる。 墨付けが出来ない若い大工がいる中、率先して伝統技能を習得し、他の若い大工の模範となっている。また、レーザーレベル等の使用や、CADによる測定で、現場での作業の省力化、効率化、正確さに努めている。 現場における安全管理の徹底、作業手順遵守、危険予知活動などに配慮する能力が秀でており、他の技能士の模範となっている。 地域の技能士会に入会し、青年部活動で、毎年開催される技能祭や冬祭りのイベントなど、地域における建設業の役割の重要性のアピールともものづくりの楽しさや素晴らしさを子どもたちに伝えるなど、将来の担い手育成にも貢献している。
川 村 正 輝 (30 歳) 鉄筋工	 有限会社エヌエス工業 (標津郡中標津町)	平成22年(有)エヌエス工業入社以来、鉄筋施工業務に従事し、9年の経験を生かし、二級鉄筋施工技能士を取得。鉄筋技能のうち、特に鉄筋加工組み込み作業の技術が極めて優れており、その工法は管内若手技能者の中で第一人者と言われている。 積算作業をPC(CAD)等を駆使し、作業の効率化を図るなど、多くの作業工程を簡素化する考案や工法を手掛け、また、仕事に取り組む姿勢と安全管理の徹底を遵守し、その姿勢が他の技能者の模範となっている。 技能士会青年部に入会し、毎年開催される技能祭や冬祭りの技能士会主催の大型滑り台の作成に参加するなど、地域貢献度は大きい。
田 中 陽 (24 歳) 配管工	 株式会社進興工業 (苫小牧市)	水道配水管布設工事における施工技術は抜群であり、新たな接合工法にも常に研究心を怠らず、配管施工技術の向上に貢献している。 各種配管工事において、他の技術者が手を出しかねる難工事でも、技能士として自信と誇りを持ち、完遂していく技量は卓越しており、他の技能者の模範となっている。 また、現場において自分の未経験な作業や不明瞭なところは諸先輩方に意見を求めるなど、更なる技能のレベルアップを図っている。 作業の改善においては、技術者・職長への適切な施工方法を提案し、効率的な作業方法や手順を構成し、生産性の高い安全で高品質の建設生産を実現している。 産業等への貢献においては、毎年行われる全国水道週間で水道設備に関する公共施設の無料点検調査及び補修等に従事し、広く社会活動に参画するとともに、設備の維持管理についても市民サービスに徹し、業界の地位向上に貢献している。
奥 村 有 馬 (26 歳) 築炉工	 大和工業株式会社 室蘭事業所 (室蘭市)	入社以来、築炉工として耐火物施工に従事し、技能の研鑽に努めている。 仕事に対する意欲や探究心を常に持ち、困難な仕事にも積極的に取り組む姿勢は後輩の模範となり、若年層のレベルアップにも一役買っている。また、後輩に新設丁寧に仕事を教える姿は次世代を担うリーダーの風格をうかがわせる。 高難度と言われる大・小径管内の内張レンガ積みやコークス炉の築造を得意とし、若手でありながらコークス炉においては3本の建設に携わってきた。大型工事も躊躇することなく自ら志願してレベルアップしていく姿は、後輩からはもちろん、先輩や上司からも頼りになる存在である。難易度の高い技術を自らの努力で培い、その技術を惜しみなく後輩に教え、後に続く若手を育てレベルの底上げを行うことで会社の発展にも寄与している。 また、自らが先頭に立ち、各地を回って培った経験を元に、自社の築炉作業方法の改善を行っている。 積極的な姿勢は作業に留まらず、地元イベント等にも積極的に参加している。また、会社近隣の保育園の遊具等や神社の歩廊修繕等、ボランティア活動にも多数参加し、地域への貢献を行っている。

氏名(年齢) 職 名	勤務先	功 績 の 概 要
永 石 肇 (27 歳) 金属材料製造検査工	日鉄テクノロジー株式会 社 室蘭事業所 (室蘭市)	入社以来、鋼材の出荷試験業務に従事し、日々の努力により優れた技術を習得。育成の面でも習得した資格の知識を元に若手の指導を行い、技能伝承の面でも信頼されている。 鉄鋼の品質検査業務に必要とするすべての技能士資格1級を取得し、非常に信頼される試験データを迅速に提供している。 また、カイゼン活動では「研磨作業のコスト削減」として、大量に行われるすべての組織検査における試料作りのための研磨作業で、素早く品質のよい試料を作る研磨を追求し、鋼材の出荷試験に大きく貢献しているほか、安全作業の向上面でも危険箇所をいち早く改善し、安心して試験業務が行えるように日々行動している。
長 谷 川 哲 平 (27 歳) 金属材料製造検査工	日鉄テクノロジー株式会 社 室蘭事業所 (室蘭市)	入社以来、鋼材の出荷試験業務に従事し、日々の努力により優れた技術を習得。育成の面でも習得した資格の知識を元に若手の指導を行い、技能伝承の面でも信頼されている。 鉄鋼の品質検査業務に必要とするすべての技能士資格1級を取得し、非常に信頼される試験データを迅速に提供している。 また、職場の改善活動では「介在物形状比測定技術の確立」として、特殊鋼の品質を管理する上で欠かせない介在物の分布評価を精度良く監視する仕組みを確立し、ばね鋼、軸受鋼の需要拡大に繋げている。
浦 野 洋 平 (29 歳) 配電・制御装置組立工 ・修理工	札幌交通機械株式会 社 (札幌市)	所属の解散・合併にもかかわらず、一貫してJR北海道鉄道車両の電機部品整備並びに配電盤製造・改造業務に従事し、たゆまぬ努力により優れた技能を習得するとともに、会社の信頼アップと発展に貢献した。特にJR北海道鉄道車両の新製・改造における各種制御配電盤製造・改造については当社若手社員の中で第一人者と評価されている。 鉄道車両のスピード制御、ブレーキ制御、客室空間の空調などを制御する配電盤の機能は多岐にわたり、その製造・整備には構造を熟知していることはもとより、高度な技術と知識が要求されるが、これらの業務を遂行するため、積極的に国家試験を取得して技術・技能を向上させ、上司、同僚及び後輩からの評価や信頼が高い。 若手トップクラスの優秀技能者であり、旺盛な向学心で常に技術・技能の向上に取り組むばかりでなく、同僚や後輩に対する指導も積極的で、これらの姿勢は他の社員への模範となっており、当社の業績にも大きく貢献している。 改善活動においては、ディーゼル機関車に搭載されている発電ブレーキ制御装置用の試験器を新しく考案・製作し、試験効率と品質向上を図ることに貢献したほか、5S活動ではマークチューブ移動式ラックを自作し、職場環境改善と作業効率の向上に繋げ、優良改善提案として会社から報奨金を授与されている。
相 馬 健 吾 (26 歳) 酒類製造工	曲イ田中酒造株式会 社 亀甲蔵 (小樽市)	入社以来、日本酒、焼酎、その他の醸造酒、リキュールの製造の業務に従事し、たゆまぬ努力により優れた技能を習得するとともに、1級酒造技能士資格を取得している。 社内はもとより、業界の若手リーダーとして、これまでの酒類の開発実績などを元に本人も成長しつつ、後進の指導にも積極的に取り組んでいる。 特に日本酒については、北海道産酒造好適米100%で醸造する「北の一星」企画の立ち上げ、製造に従事。平成30年からは古平町開町150年事業の地酒開発プロジェクトに従事。原料米の栽培から仕込み水の水质調査、取水にも従事し、純米吟醸酒として古平町内の消費者にはもちろんのこと、古平町を訪れる観光客からも高い評価を受けるほか、ニセコ町産酒造好適米と小樽市の伏流水で作った純米原酒を、幌延町のミズナラ木で製作した洋樽に貯蔵・熟成させた北海道初の純米樽酒開発に携わるなど、北海道の酒造り、農業振興及び観光振興に多大な貢献をしている。
廣 瀬 遼 (26 歳) 酒類製造工	曲イ田中酒造株式会 社 (小樽市)	入社以来、日本酒、焼酎、その他の醸造酒、リキュールの製造の業務に従事し、たゆまぬ努力により優れた技能を習得するとともに、1級酒造技能士資格を取得している。 社内はもとより、業界の若手リーダーとして、これまでの酒類の開発実績などを元に本人も成長しつつ、後進の指導にも積極的に取り組んでいる。 特に日本酒については、複数の酒類コンクール等で最高賞を含む優秀な成績を収めた道産米での純米第吟醸酒「宝川」や、道産米を使用した長期熟成純米大吟醸「昔寿」の開発にあたるほか、発泡性日本酒及び道産果実を使用した発泡性リキュールの製品化を実現。次世代を担う若年酒造技能者として大いに期待されている。 また、更に高度な酒造技能を習得するために「南部杜氏」の資格取得を目指し、平成29年には一般社団法人南部杜氏北海道職業能力開発協会の「特科試験」に合格している。
椿 貴 成 (30 歳) 電気機械組立・修理及び 電気作業	札幌交通機械株式会 社 (札幌市)	入社以来、JR鉄道車両の電気関係開き及び部品の整備及び新規開発の業務に従事し、車両機器の信頼性維持と新技術の開発に向けて日々取り組んでいる。JR北海道が保有する約1,000両を超える車両の定期検査及び臨時検査に対応し車両搭載機器や部品のメンテナンスを担当。高い技術力を持って業務を遂行しており、お客様、同僚からもその技術、技能に対する評価や信頼も厚い。さらに不具合事象に迅速、柔軟に対応ができるなど全般的な技術知識も持ち合わせている。 資格取得に対しても非常に向上心が高く、H20年に2級技能士、H24に1級技能士を取得するなど継続した技能向上を目指す努力家であり、トップクラスの優秀技能者の1人である。旺盛な向学心で常に技術、技能の向上に取り組むばかりでなく、後輩や同僚に対する指導も適切である。これらの姿勢は他の模範であり、社の業績にも貢献している。 創意工夫による作業の効率化、安全性の向上への取り組みでは、無接点式の制御機器の開発とメンテナンスにその力を発揮。特にJR北海道が新規に投入する新製車両のPLC制御盤の試験器開発にあたっては、中心的役割を担当し各種改善活動を通じて作業性の向上はもとより正確に動作する機器を考案、製作したが、これは今後も継続し、大きな成果が期待できる優良改善である。 日頃から安全、品質、効率等の改善向上に努める姿勢は社内のみならずJR北海道、車両メーカーからも高い評価を受けている。
須 藤 勝 也 (27 歳) 型枠工	 丸成鈴木建業株式会 社 (釧路市)	入社当時から仕事に対する意欲があり、認定職業訓練校でも優秀な成績を収め、訓練生主張発表では準優勝に表彰され、堂々とした姿が下級生の模範となった。 実務経験6年弱という短期間で1級型枠施工技能士を取得。現在は現場を任せられ、周囲が年上ばかりなのに、関わらず的確な指示で現場を納め、元請けからも高い評価を得るなど将来有望な職人である。 作業効率の改善においては、図面から材料、施工を拾い出し型枠を製作する中で、段取りを大切にし作業方法の改善や省力化、能率向上に寄与している。 産業等への貢献においては、災害関連緊急工事など数多くの建築、土木の工事現場にて後進技能者を指導しながら活躍し、社会に貢献している。
田 邊 大 也 (28 歳) とび工	 株式会社常進建工 (釧路郡釧路町)	入社以来、とび土工の業務に従事し、1級とび技能士資格を取得するなど技能の研鑽に励み、優れた技能を習得するとともに、業界の振興、地域社会の発展に貢献した。特に足場組立及び解体の技能については、これまで現場で得た経験を活かした的確な指示のもと、安全を徹底しながら作業を効率化し、作業時間の短縮に繋げるなど生産性の向上に取り組む、業界内で高い評価を得ている。 社内では若くして工事部長を任せられ、強い責任感とリーダーシップを発揮するほか、釧路若鷺会の活動にも積極的に参加するなど、同年代の技能者の先頭に立ち業界の発展にも尽くしている。